



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日

上場会社名 ジェイリース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7187 URL https://www.j-lease.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長(氏名) 中島 拓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務兼専務執行役員経営企画本部長(氏名) 中島 重治 (TEL) 03-5909-1245
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,498	8.7	327	268.8	306	362.2	192	516.5
2020年3月期第2四半期	3,219	12.8	88	—	66	—	31	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 192百万円(516.5%) 2020年3月期第2四半期 31百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	21.86	21.42
2020年3月期第2四半期	3.55	3.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,670	843	11.0
2020年3月期	7,833	650	8.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 843百万円 2020年3月期 650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	9.7	580	272.8	540	409.6	360	—	40.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	8,810,400株	2020年3月期	8,800,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	60株	2020年3月期	60株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	8,804,073株	2020年3月期2Q	8,795,673株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いております。感染症拡大の防止策を講じつつ経済活動レベルを引き上げていく中で、各種政策の効果や海外経済の改善も見られ、国内消費の回復など、景気は持ち直しの動きが見られておりますが、引き続き国内外の感染症の動向や先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く賃貸不動産業界におきましては、コロナ禍においても入居需要は底堅く推移しており、また、少子高齢化、晩婚化の進行による単身世帯の増加及び2020年4月に施行された改正民法による連帯保証人の保証限度額設定の義務化等により、家賃債務保証に対する需要は、引き続き好調に推移しております。

このような環境の下、当社グループは、顧客（不動産会社、賃貸人、借入人）に寄り添った丁寧な対応を徹底し、債権管理業務や与信審査の強化を図るとともに、引き続き業務効率化や経費削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,498,789千円（前年同期比8.7%増）、営業利益は327,988千円（前年同期比268.8%増）、経常利益は306,682千円（前年同期比362.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は192,478千円（前年同期比516.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（保証関連事業）

家賃債務保証業務においては、売上面ではオンライン活用をはじめとする非対面営業の強化、顧客ニーズへの対応強化等の各施策が奏功し、新規申込が順調に推移するとともに、既存契約からの継続保証料等が順調に推移いたしました。経費面では、独自のデータベースを活用した与信審査の強化、住居確保給付金をはじめとする政府主導の各種支援制度を顧客へ周知する施策や債権管理業務の強化策が奏功し、貸倒コストの抑制、債権管理業務コストの削減に寄与しました。

医療費保証業務においては、引き続き販路拡大と営業強化に取り組んでおり、徐々に成果に繋がりがつつあります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の保証関連事業の売上高は3,469,827千円（前年同期比9.6%増）、営業利益は340,523千円（前年同期比276.6%増）となりました。

（不動産関連事業）

不動産仲介・管理業務及び不動産賃貸業務においては、外国籍の方々に対する業務を中心に展開しており、利益率の向上に努めておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限の影響が継続しており、海外からの問い合わせや申込が減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の不動産関連事業の売上高は32,211千円（前年同期比45.4%減）、営業損失は12,534千円（前年同期は営業損失1,700千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比162,206千円減少し7,670,987千円となりました。これは主に、収納代行立替金の増加364,381千円、現金及び預金の増加141,433千円、未収保証料の減少260,613千円、貸倒引当金の増加272,384千円、代位弁済立替金の減少122,506千円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比355,275千円減少し6,827,525千円となりました。これは主に、未払金の減少117,589千円、収納代行未払金の減少85,123千円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比193,069千円増加し843,461千円となりました。これは主に利益剰余金の増加192,478千円によるものであります。

これらにより、自己資本比率は前連結会計年度末比2.7ポイント増加し11.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比141,433千円増加し1,120,492千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は、217,987千円（前年同期は396,403千円の支出）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の増加304,950千円、貸倒引当金の増加272,384千円等によるものであります。主な減少要因は、収納代行立替金の増加364,381千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は、26,282千円（前年同期は90,452千円の支出）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出17,179千円、有形固定資産の取得による支出15,254千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は、50,271千円（前年同期は557,947千円の収入）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出30,024千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月12日付「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2020年10月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	979,058	1,120,492
未収保証料	753,278	492,664
未収手数料	34,856	39,697
未収還付法人税等	3,925	—
代位弁済立替金	5,265,540	5,143,033
収納代行立替金	547,092	911,473
貯蔵品	11,839	13,459
その他	267,463	234,368
貸倒引当金	△2,027,000	△2,239,000
流動資産合計	5,836,055	5,716,189
固定資産		
有形固定資産	293,459	282,247
無形固定資産		
その他	395,103	356,647
無形固定資産合計	395,103	356,647
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,120,141	1,138,492
その他	263,032	312,394
貸倒引当金	△74,598	△134,983
投資その他の資産合計	1,308,575	1,315,903
固定資産合計	1,997,138	1,954,798
資産合計	7,833,193	7,670,987

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	3,250,000	3,250,000
1年内返済予定の長期借入金	60,048	60,048
リース債務	40,536	40,970
収納代行未払金	878,064	792,940
未払金	420,392	302,803
未払法人税等	161,442	147,825
前受金	1,761,705	1,696,297
賞与引当金	94,521	96,075
その他	196,850	178,737
流動負債合計	6,863,561	6,565,698
固定負債		
長期借入金	119,856	89,832
リース債務	143,726	123,131
役員退職慰労引当金	3,065	4,040
長期末払金	7,986	—
資産除去債務	43,418	43,940
その他	1,187	882
固定負債合計	319,239	261,826
負債合計	7,182,801	6,827,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	713,348	713,651
資本剰余金	288,348	288,651
利益剰余金	△351,146	△158,667
自己株式	△49	△49
株主資本合計	650,501	843,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△109	△123
その他の包括利益累計額合計	△109	△123
純資産合計	650,392	843,461
負債純資産合計	7,833,193	7,670,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	3,219,275	3,498,789
売上原価	716,088	735,135
売上総利益	2,503,187	2,763,654
販売費及び一般管理費	2,414,249	2,435,665
営業利益	88,937	327,988
営業外収益		
受取利息	5	408
受取配当金	10	10
受取保険金	917	—
助成金収入	—	2,000
償却債権取立益	203	195
その他	227	251
営業外収益合計	1,363	2,865
営業外費用		
支払利息	12,507	16,676
債権譲渡損	9,908	6,011
その他	1,528	1,482
営業外費用合計	23,943	24,171
経常利益	66,357	306,682
特別利益		
課徴金返還額	—	573
資産除去債務履行差額	2,342	—
固定資産売却益	21	—
特別利益合計	2,364	573
特別損失		
減損損失	2,664	2,171
固定資産除却損	8	133
特別損失合計	2,673	2,305
税金等調整前四半期純利益	66,048	304,950
法人税、住民税及び事業税	122,784	130,822
法人税等調整額	△87,955	△18,350
法人税等合計	34,829	112,472
四半期純利益	31,218	192,478
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,218	192,478

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	31,218	192,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△14
その他の包括利益合計	0	△14
四半期包括利益	31,219	192,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,219	192,464

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	66,048	304,950
減価償却費	49,362	81,814
減損損失	2,664	2,171
貸倒引当金の増減額(△は減少)	236,639	272,384
受取利息及び受取配当金	△15	△418
支払利息	12,507	16,676
課徴金	—	△573
売上債権の増減額(△は増加)	242,757	254,853
固定資産除却損	8	133
固定資産売却損益(△は益)	△21	—
代位弁済立替金の増減額(△は増加)	△689,461	63,041
収納代行立替金の増減額(△は増加)	△243,983	△364,381
たな卸資産の増減額(△は増加)	609	△1,620
前受金の増減額(△は減少)	73,040	△65,408
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,296	1,554
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10,203	975
収納代行未払金の増減額(△は減少)	18,881	△85,123
株式交付費	—	691
その他	△27,755	△59,799
小計	△260,624	421,923
利息及び配当金の受取額	15	418
利息の支払額	△12,765	△16,556
法人税等の支払額	△123,028	△143,591
課徴金の支払額	—	△44,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	△396,403	217,987
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△72,034	△15,254
有形固定資産の売却による収入	21	—
無形固定資産の取得による支出	△26,609	△17,179
その他	8,169	6,151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,452	△26,282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△30,024	△30,024
株式の発行による収入	453	—
株式の発行による支出	—	△87
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,482	△20,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	557,947	△50,271
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	71,091	141,433
現金及び現金同等物の期首残高	896,836	979,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	967,928	1,120,492

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,164,936	54,339	3,219,275	—	3,219,275
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,618	4,618	△4,618	—
計	3,164,936	58,958	3,223,894	△4,618	3,219,275
セグメント利益又は損 失(△)	90,416	△1,700	88,716	221	88,937

(注) 1. 売上高の調整額△4,618千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,469,827	28,961	3,498,789	—	3,498,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,249	3,249	△3,249	—
計	3,469,827	32,211	3,502,039	△3,249	3,498,789
セグメント利益又は損 失(△)	340,523	△12,534	327,988	—	327,988

(注) 1. 売上高の調整額△3,249千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、経営管理区分の見直しを行ったことに伴い、以下のとおり報告セグメントの統合、名称変更を行っております。従来の「家賃債務保証事業」と「その他」に含まれておりました「医療費関連事業」とを統合し、「保証関連事業」に名称変更しております。また、従来の「不動産仲介事業」と「その他」に含まれておりました「不動産賃貸事業」を統合し、「不動産関連事業」に名称変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。